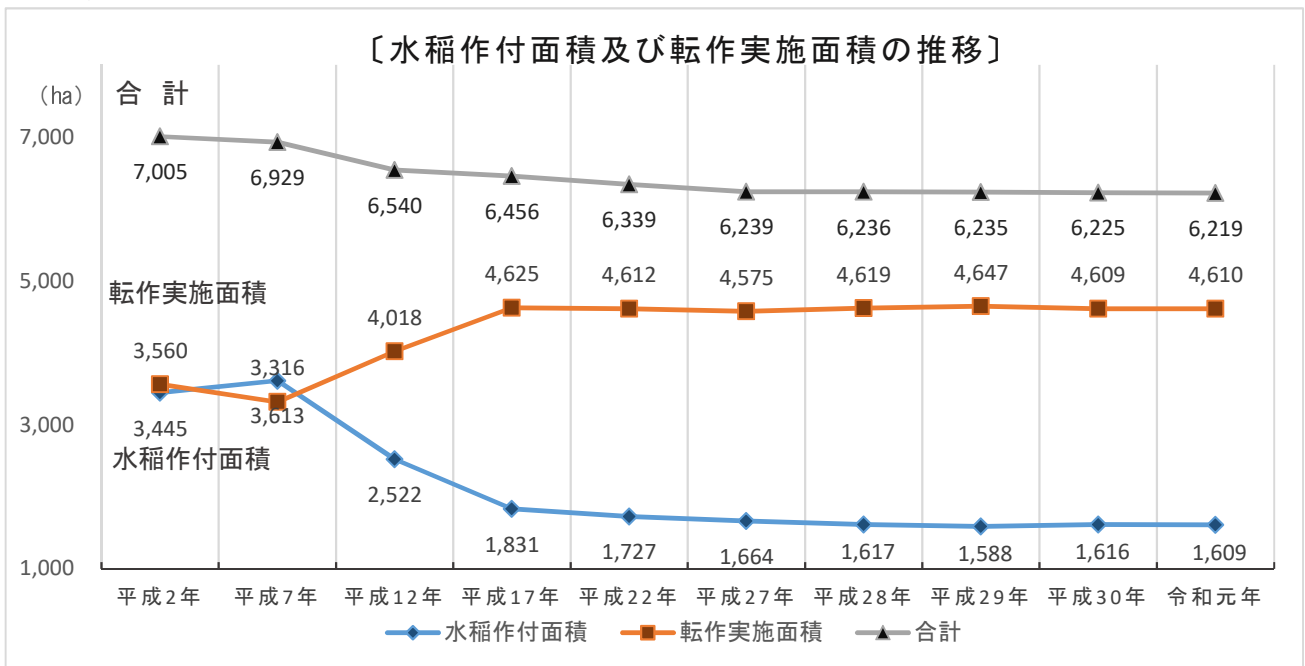


3 水稲作付面積及び転作実施面積

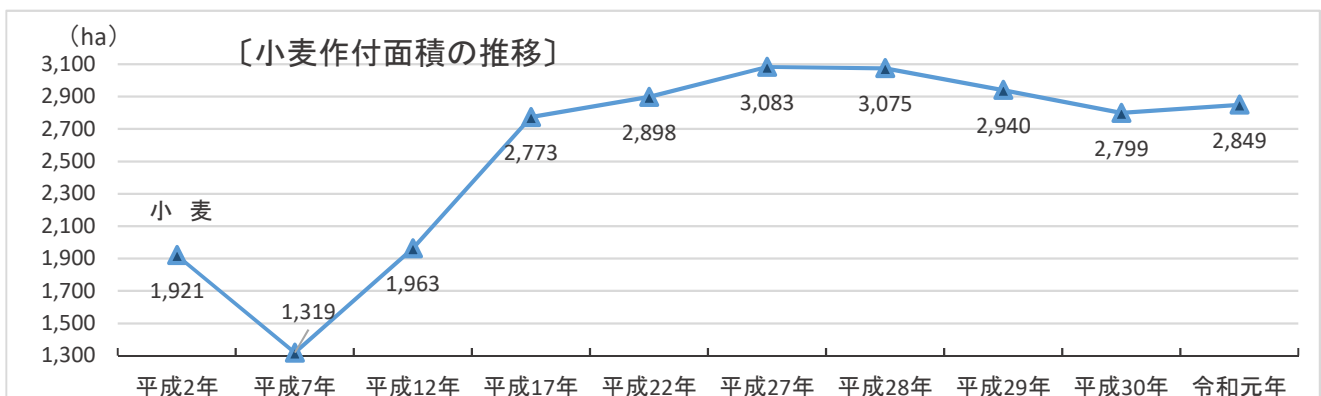
単位:ha

区分 年度	水稲作付面積		転作実施面積	転作作付面積内訳(新規需要米等を除く)								
		うち主食用		小麦	大豆	小豆	てん菜	野菜	花き	牧草等	子実とうもろこし	その他
平成2年	3,445	-	3,560	1,921	347	394	3		33	696		166
平成7年	3,613	-	3,316	1,319	278	531	47		69	731		341
平成12年	2,522	-	4,018	1,963	485	483	31		78	637		341
平成17年	1,831	1,831	4,625	2,773	426	489	35	129	71	622		79
平成22年	1,727	1,722	4,612	2,898	493	265	48	248	83	535		42
平成27年	1,664	1,537	4,575	3,083	461	71	37	190	71	614		48
平成28年	1,617	1,556	4,619	3,075	485	50	37	216	72	643		40
平成29年	1,588	1,547	4,647	2,940	544	47	63	247	74	647	20	65
平成30年	1,616	1,564	4,609	2,799	576	58	63	277	74	660	40	63
令和元年	1,609	1,542	4,610	2,849	509	63	50	289	69	667	48	67

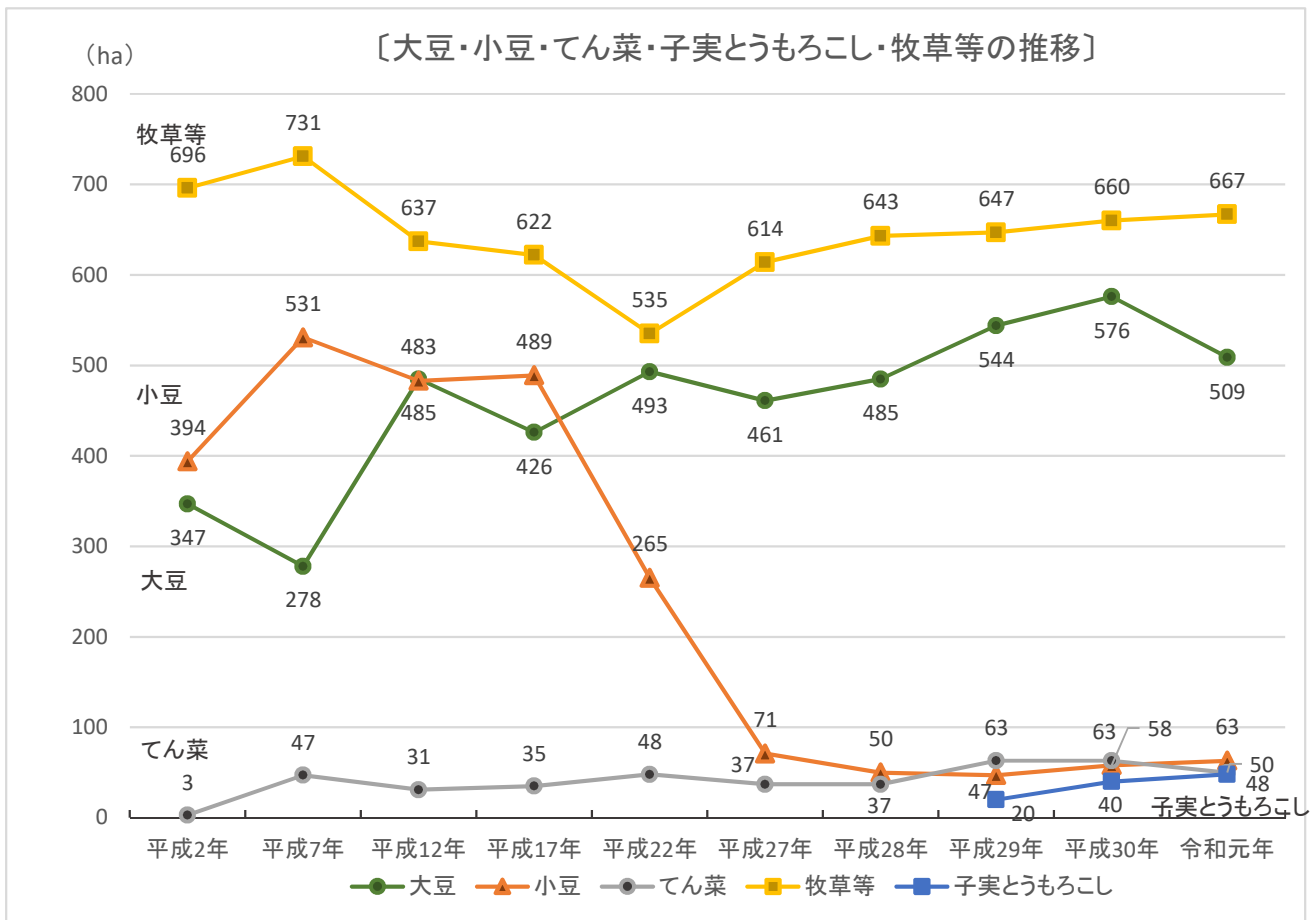
資料:町農務課 ※空白はデータなし



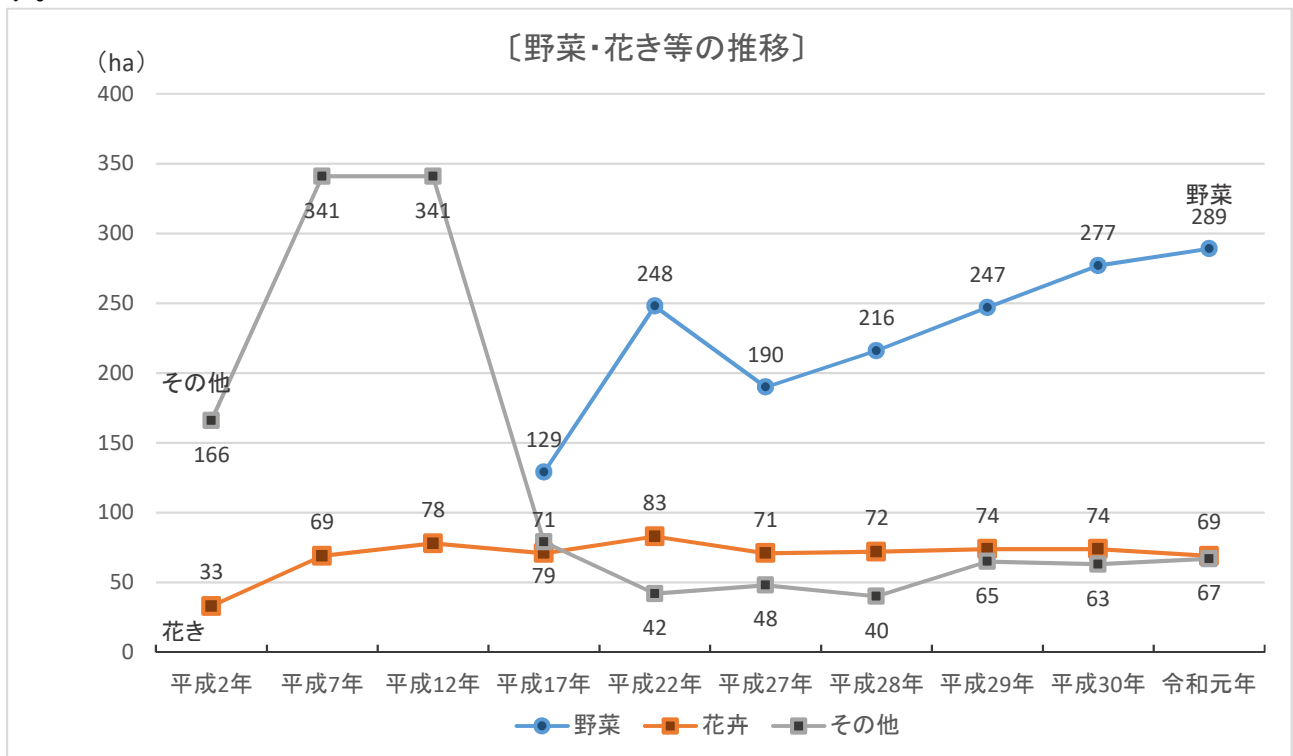
当別町の転作実施面積は、平成17年度以降約4,600haとなっています。



当別町の転作実施面積のうち小麦作付面積は、平成27年度から若干の減少となっています。



当別町の転作作付面積のうち、牧草等と子実とうもろこしは増加傾向にあり、この10年間に大豆はほぼ横ばい状態となっています。
 小豆の作付面積は、平成27年度まで減少傾向にありましたが、平成28年度以降は、横ばい状態となっています。



また、野菜の作付面積のデータは平成17年度からで、おおむね増加傾向となっています。
 この要因の一つは、かぼちゃ、ブロッコリー、キャベツの作付面積が増加傾向となっています。
 花きの面積の算定方法は、平成27年度から変更となっています。